

令和2年3月号 環境影響評価事後調査実施状況（概要版）

令和2年3月
佐久市・北佐久郡環境施設組合

今号では、平成31年（2019年）4月から令和2年（2020年）3月までに実施した「施設建設工事に伴う環境保全措置」及び「生活環境（大気質、水質、水象(地下水位)）に対する事後調査」について報告します。

1 施設建設工事に伴う環境保全措置について

現在、建設地では平成30年3月末より始まった施設本体建設工事を行っています。

今年度の環境保全措置として、工事車両出入り口の路面洗浄や雨水排水の水温の監視等を実施しました。



R2.1 撮影 施工状況



工事用車両出入り口の路面洗浄



騒音対策型機械の使用



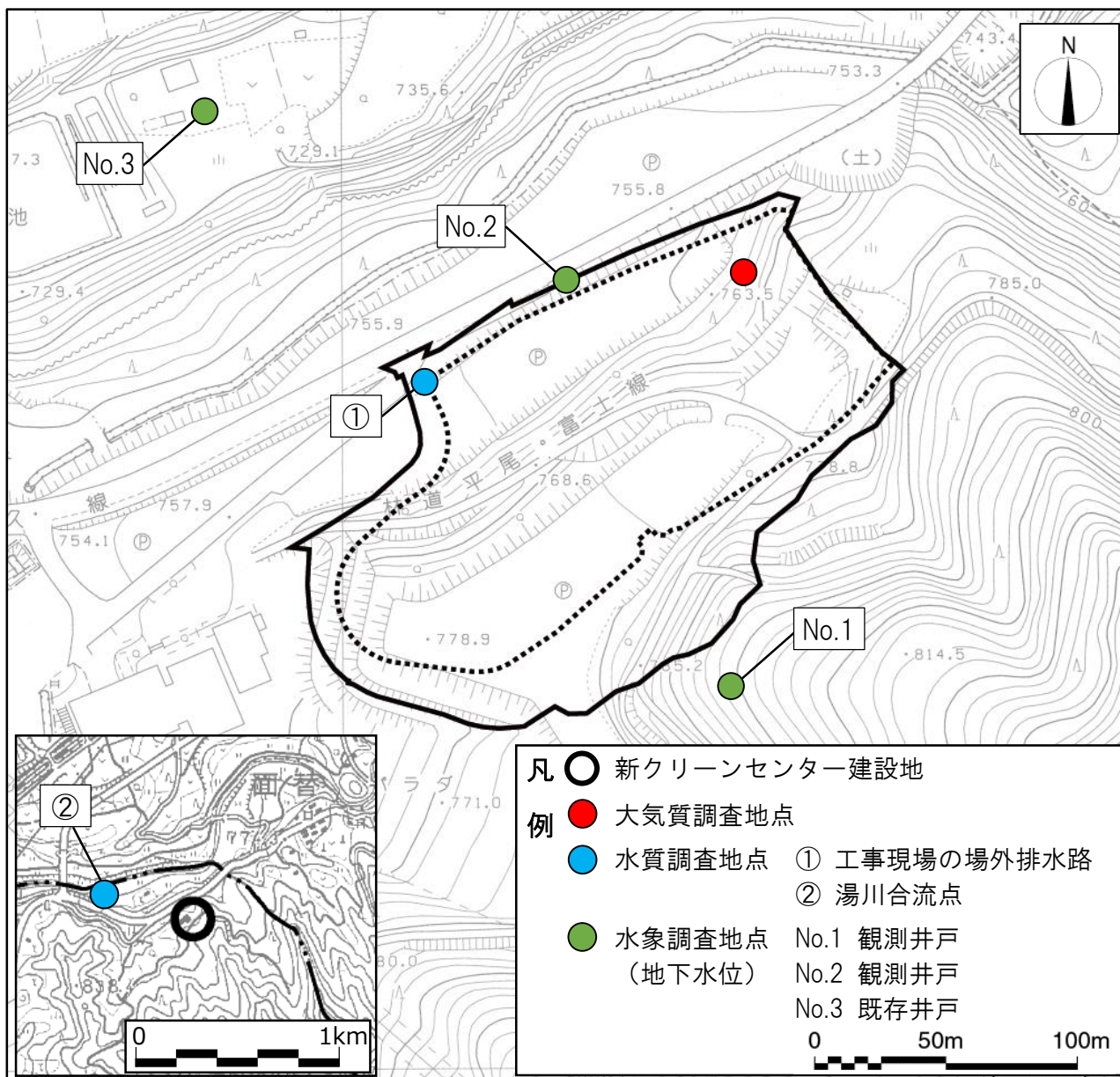
雨水排水の水温の監視



水素イオン濃度の中和処理

2 生活環境に対する事後調査について

今年度は、大気質、水質、水象（地下水位）について事後調査を実施しました。
調査地点及び調査状況の写真について、下図に示します。



(1) 大気質の事後調査結果について

建設機械の稼働に伴い発生する、一酸化窒素、二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の測定を7月20日～26日に実施しました。

調査結果は環境基準を満足し、予測結果を下回る結果となりました。

調査項目	単位	調査結果	環境基準	予測結果
一酸化窒素	ppm	0.006	-	-
二酸化窒素	ppm	0.005	1日平均値が 0.04 から 0.06 のゾーン内 またはそれ以下	0.027
浮遊粒子状物質	mg/m ³	0.025	日平均値が 0.10 以下 1時間値が 0.20	0.043

※調査結果は日平均値の最大値です。

(2) 水質の事後調査結果について

舗装工事・コンクリート工事に伴い発生する、アルカリ排水における水素イオン濃度及び河川流量の測定を7月19日に行いました。

調査結果は各地点において水素イオン濃度の環境基準を満足していました。また、評価書の調査結果と同等であり、環境保全のための目標を満足していることから、アルカリ排水による影響はほとんどないと考えられ、予測結果を満足すると考えられます。

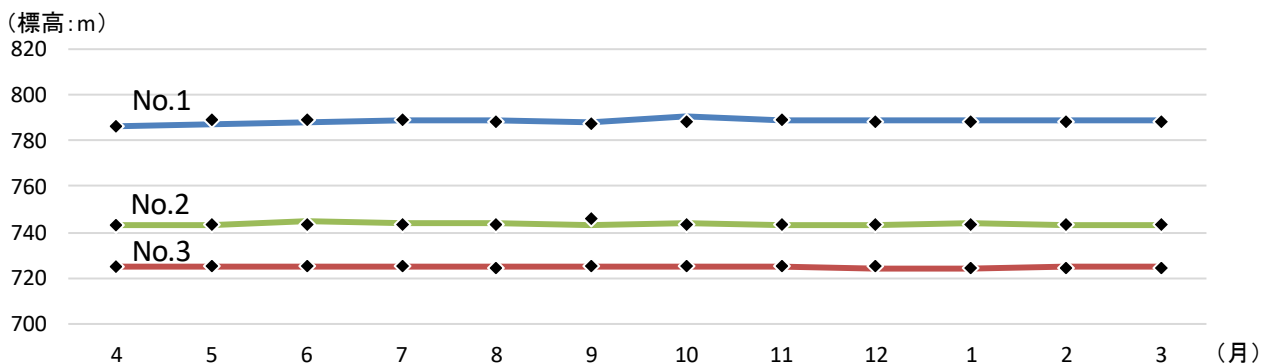
調査地点	調査結果		環境基準	予測結果	評価書 調査結果	環境保全の ための目標
	水素イオン濃度	河川流量				
地点①	8.0	0.0002 m ³ /s	6.5 以上 8.5 以下	アルカリ排水による影 響は小さい	7.9	6.5 以上 8.5 以下
地点②	8.0	0.0172 m ³ /s			7.9	

※環境基準、予測結果、評価書調査結果、環境保全のための目標は水素イオン濃度に係る値等です。

(3) 水象の事後調査結果について

建設地より高い位置にある No.1 及び低い位置にある No.2 (いずれもボーリング調査跡の穴を利用)、周辺民家にある既存の井戸である No.3 の3箇所で平成31年(2019年)4月から令和2年(2020年)3月までの間、地下水位を測定しました。

調査結果は年間を通じてほぼ一定の水位であり、No.1 及び No.3 は工事開始前、No.2 は工事開始時の調査結果と比較しても大きな変動は見られませんでした。



※No.1 及び No.3 の◆は工事開始前 (H25.2～H26.1)、No.2 の◆は工事開始時 (H28.5～H29.3) の調査結果を示します。

3 次号 (4月) の内容

◆ヤエガワカンバ幼木の生育状況

◆オニヒョウタンボク幼木の生育状況 について予定しています。